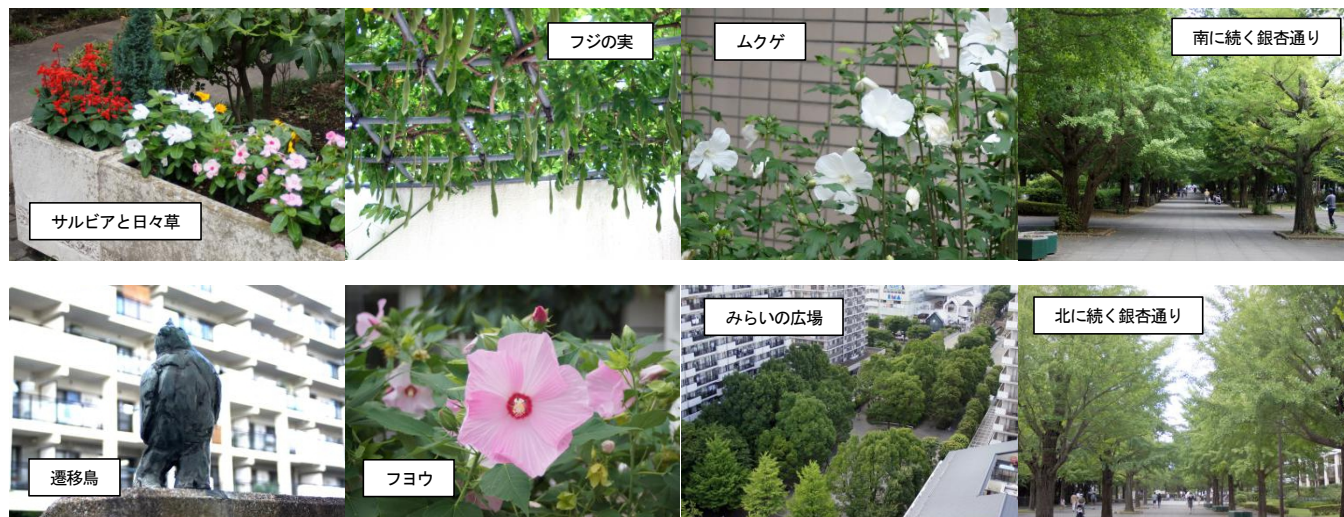


ちょっとそこまで ～お散歩日和 (地域編)～

向 暑 点 描

銀杏通りが一段と色濃くなり、貴重な緑陰を提供してくれています。これまで夏を告げていたタチアオイに代わって、ムクゲやフヨウが彩り豊かに花を咲かせています。8号棟前のフヨウは宿根草で、木本とならないので、アメリカフヨウです。フジの実もたわわに実り、長く寂しかった藤棚が年々楽しみになってきました。遷移鳥もしっかりと団地の行く末を見守ってくれています。



写真を撮るとつくづく感じるのですが、当団地は全体的な統一感がありながらそれぞれの表情が変化に富み、個性的で、とても美しいと思います。ことに、夏を迎えて太陽の光を真正面に受けて光り輝くさまは、神々しくさえあります。改めて、この地をふるさとと慕う住民たちが、これまでの日々を地道に積み重ねてきた営みと協力の成果なのだろうと感じます。



3本の樹木について触れたいと思います。

1本目は10号棟前のトチノキです。昨年までは何も問題なかったのに、今春、わずかに芽を出したところで突然立ち枯れてしまいました。原因不明ですが、理事会で代替りのトチノキを植栽しようと動いています。2本目は銀杏通りからの入り口に立つサワラです。まるで当団地の仁王門のように2本並んで立っています。次号で詳しく触れたいと思っています。3本目は7号棟集会室前のエゴノキです。団地創建時から植栽されているものですが、当然ながら幹が随分太くなっていると感じました。相変わらず虫こぶが多くできていますので、興味のある方はホームページ「花便り」を閲覧なさってみてください。

